

事務事業マネジメントシート(令和 4年度実績と令和 5年度計画)

令和 6年 1月 4日 更新

事務事業名		老人ホーム入所措置事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	2	福祉の健康			所属部	健康福祉部	課長名	坂井 晴代
	施策	7	高齢者の自立と支援体制の充実			所属課	高齢者支援課	担当者名	田中 景子
	施策の柱	28	高齢者の生活支援の充実			所属班	包括支援センター班	(内線)	1626
予算科目	会計一般	款 3	項 1	目 4	事業連番 10497	根拠法令	老人福祉法合志市老人福祉法施行細則		
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 4年度で終了 <input type="checkbox"/> 4年度から開始					事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( ~ 年度)		

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	養護老人ホームの入所措置事業。老人福祉法施行時の昭和38年頃から。65歳以上の者であって、在宅において日常生活を営むのに支障がある者に対して、その置かれている環境の状況等を総合的に勘案して、老人ホームへ入所の措置を行う。
【業務の流れ】	相談、申請、実態調査、地域ケア会議、決定、菊池圏域合同入所判定会議、入所決定、入所措置費決定、入所負担金決定、入所立会、入所者の実態調査、退所事務、退所立会、収入申告書による入所措置費変更事務(7月)、入所負担金納付書発行送付(毎月)、措置費支払事務(毎月)、振込み手数料支払。滞納繰越事務、決算事務、収納年次処理事務。
【主な予算費目】	役員費・負担金補助及び交付金・扶助費。
【意見や要望】	特になし

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分
① 手段(主な活動) 4年度実績(4年度に行った主な活動)(DO)	養護老人ホーム入所措置4施設 15人(新規入所者2人、退所者はなし)、特別養護老人ホーム入所措置1施設1人、計16人の措置費を支払い、高齢者福祉の充実を図った。	5年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 人	予算の主な増減の理由
ア 入所相談件数	→ 4	養護老人ホーム入所者増による扶助費(入所措置費)の増
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	65歳以上の者であって、在宅生活において日常生活を営むのに環境上の状況や経済的事情に支障がある者。	② 対象指標(対象の大きさを表す指標)
		(単位) 人
		ア 65歳以上の高齢者
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	低所得及び身寄りのない高齢者を保護・措置し安心して生活を送る。	③ 成果指標(意図の達成度を表す指標)
		(単位) 人
		ア 養護老人ホーム入所者数
*③成果指標設定の理由と5年度目標値設定の根拠		総トータルコスト全体計画 ~ 年度
低所得及び身寄りのない高齢者を保護・措置し、安心して生活を送ることを意図として、養護老人ホームの入所者数とした。		0

(2) 各指標・総事業費の推移	単位	2年度	3年度	4年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度
		実績(決算)	実績(決算)	目標(当初予算)	実績(決算)	目標(当初予算)	予定	見込	見込
① 活動指標	人	4	2	4	2	4	4	4	4
② 対象指標	人	14,813	15,293	15,232	15,471	15,403	15,548	15,655	15,655
③ 成果指標	人	14	13	14	15	14	14	14	14
投資入費量	財源内訳								
	国庫支出金	千円							
	都道府県支出金	千円							
	地方債	千円							
	その他	千円	5,315	5,846	6,108	5,977	9,324	9,324	9,324
	繰入金	千円							
	一般財源	千円	26,611	25,442	28,626	27,082	30,270	30,270	30,270
(A) 事業費計	千円	31,926	31,288	34,734	33,059	39,594	39,594	39,594	
(A)のうち指定経費	千円	31,152	30,509	33,956	32,281	38,804	38,804	38,804	
(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0	
人件費	人	5	5	5	4	5	5	5	
正規職員従事人数	人	5	5	5	4	5	5	5	
延べ業務時間	時間	900	535	700	453	700	700	700	
(B) 人件費計	千円	3,548	2,091	2,788	1,724	2,788	2,788	2,788	
トータルコスト(A)+(B)	千円	35,474	33,379	37,522	34,783	42,382	42,382	42,382	

事務事業名	老人ホーム入所措置事業	所属部	健康福祉部	所属課	高齢者支援課
-------	-------------	-----	-------	-----	--------

## 2 評価の部 (CHECK)

\*原則は4年度の事後評価、ただし複数年度事業は4年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	① 4年度目標達成度評価	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した <input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】 措置人数を増やすことが目的ではないので、目標達成とする。
	② 5年度目標達成見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり ⇒【理由】 家庭環境、経済状況により在宅生活の継続が困難なケース相談が増えており、それに伴う入所件数も目標達成することが見込まれる。 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】
有効性評価	③ 成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 養護が必要な高齢者を積極的に措置する。 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】
	④ 類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 老人福祉法の規定によるものであり、他の法の適用はない。
効率性評価	⑤ 事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 入所措置が必要な高齢者を措置する費用であり削減できない。 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】
	⑥ 人件費 (延べ業務時間) の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 入所相談が増加しており削減できない。 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】
公平性評価	⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 養護を必要とする高齢者に対する、法に定められた措置であり、公平・公正である。 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】
役割分担評価	⑧ 行政の役割分担の適正化	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 老人福祉法の規定によるため、行政が行なうべき業務である。 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】

## 3 評価結果の総括 (CHECK)

認知・身体機能の低下や同居家族の問題 (介護力低下・経済面・虐待) 等により自立し安心した生活が困難な人の相談が増えている。適切な調査・協議を行い、他の制度を用いても生活改善の余地がない場合に措置入所につなげることができた。

## 4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (ACTION)

<p>(1) 今後の事業の方向性 (改革改善案) ・ ・ ・ 複数選択可</p> <p><input type="checkbox"/>廃止 <input type="checkbox"/>休止 <input type="checkbox"/>目的再設定 <input type="checkbox"/>事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (有効性改善)</p> <p><input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (効率性改善) <input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (公平性改善)</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない)</p>	<p>(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持		○																			
	低下																					
<p>(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題 (壁) とその解決策</p>																						